

マヒドン大学のスタッフと宮崎さん(前列左から2人目)。熱帯病の対策に、流 行国の協力は欠かせない

が低く、確定に数日ルスの感染検査の精度

より確実な駆除活動へ蚊の駆除が感染防止の鍵 デングウイルスの

学熱帯医学部とは、検査キッ

のマヒドン大

精度向上などの共同研究を行い、

のデング熱患者が報告されて

日本でも毎年200例以

は時に患者がのた打ち回るほどだ

感染症の特徴だ。とはいえ、英語

「骨砕き熱」と呼ばれる

とは少ないのが、

デングウイルス

て、デング熱の感染拡大防止は、

衛生面はもちろん、経済的にも差

し迫った課題なのだ。

は高熱と痛みだけで命に関わるこ こすこともあるが、基本的な症状 そう説明する。

まれに重篤なデング出血熱を起

ル研究所の宮崎功代表取締役は、

どもの看病に時間を取られるた

社会全体での経済活動が停滞

とも少なくありません。母親が子

葉県の株式会社バイオメディ

が出来上がっている。 ムを派遣するシステム という意識が当局でも ス感染症を撲滅したい イでは、 デング出血熱による死 蚊を駆除することが重 者が出た国の一つ、 ウイルスを運ぶ すぐに駆除チ 発生が確認され デングウイル 950年代に

感染拡大を食い止める 問題は、デングウイ 検査技術を供与している。「この ます。これはデング熱だと確定診

究を進めることが、検査キット 数は少なく、 可能性があります。それでも患者 には10倍以上の人が感染している 断された患者の数ですから、 戦いの最前線とも言えるタイで研 出る流行期がある。デング熱との 年に1回は10万人以上の感染者が のです」。タイでの感染者は通 年間5 研究をするのは難し 6万人だが、3 実際

のジカ熱など、

対策の立ち遅れて

デング熱と同じフラビウイルス科 療薬もできつつある。その一方で、

ではデング熱の疑いが出た時点で 拡大する可能性が高 確定診断を待って ムを派遣している。

いては感染が

は、多くの国で母親の役割でしんでいる子どもの面倒を見る

の面倒を見るの

宮崎さんは、「高熱と痛みに苦

免疫ができます。

です

大人は免疫を持っていてかかり

患者は主に子どもです」。

稼いで家族の生活を支えているこ

しかし、途上国では女性が日銭を

ウイルスの血清型には4種類あり

一度でもかか

った型には 多く

「デング熱を引き起こすデング

検査・駆除体制確立を目指してい 簡易検査キット「ラピデング・ た。現在はタイの保健省と協力し、 検査キットを役立てたいと考え で開発したデングウイルスの簡易 感染の有無が診断できれば、 短時間で確実にデングウイルス 宮崎さんは、 ムの派遣がより効率的にな 」を使用した全国レベルの そのために自社 駆除

て貧困に苦しむ家庭も少なくはあ

**ません」と言う。途上国にとっ** 

することに加え、

生活費が枯渇し

検査キットでは、医者ットの作成だ。「今の の熱帯病を含む、主要る。デング熱やその他

やく世界初の市販にこぎつけ、 ます」と宮崎さんは強調する。 ますし、万が一の見落としも減りきるようになれば、早く診断でき 本的な病気について一括で検査で のしか検査できません。もし、基 がこの病気を検査すると決めたも デング熱ワクチンは昨年、 よう

こで生かされている。こで生かされている。 機構の千葉大亥鼻イス 拠点だ。 学部の 入居する、 くのベンチャ ベーションプラザ。多 1都3県に2 企業基盤整備 産学連携の 葉大学 パス内 企業が



タイの小児科病棟で



人の移動が増える中、熱 帯病は日本にとっても他人 ごとではなくなりつつある

進まない「顧みられない熱帯病(N 発途上国に集中 多くの人にとって記憶に新しいだ た、2014年のデング熱流行は、 らいなどの理由で医薬品の開発が により引き起こされる感染症。 TDs)」の一つだ。世界保健機 ろう。デング熱はデングウイルス 首都圏の公園が次々と閉鎖さ 採算が取り、



バイオメディカル研究所が 製作した、デング熱の迅速 検査キット

看病は母が背負う国も子どもに多いデング熱

## 迅速診断で 効率よい感染防止

2014年夏、日本でも話題になったデング熱。 東南アジアや南米、アフリカなど、一年中蚊がいる地域では、 常に感染の危険がある。日本の最先端医療技術が、 蚊の効率的な駆除の下支えを目指す。



迅速検査技術



国における対策に役立つだけでな 途上国の知見の共有は、開発途上 いる。感染症に関する日本と開発 いる熱帯病はまだ数多く残されて